

令和7年度 常盤平団地地区意見交換会のテーマについて

(団体名) 常盤平団地自治会

(件名) 常盤平団地地区における公共交通機関の整備について

(具体内容)

常盤平団地地区は高齢化が進んでおり、買い物や通院等、日常の外出に苦慮しているとの声をよく耳にします。

現在走行している路線バスは、常盤平駅南口から牧の原団地間の1路線しかなく、常盤平団地地区の東西を結ぶものではありません。

常盤平団地は、常盤平駅と五香駅の間に広がる敷地面積335,000㎡の広大な団地です。例えば、E街区53号棟から常盤平支所まで徒歩で移動しようとした場合、片道の距離は約1.3km、移動時間に20分を要するため、高齢者にとっては厳しい外出となります。

また、特に他人との交流が減少しがちな高齢者にとって、会話は脳への刺激となり心身の健康に良い影響を与えていると考えられているため、移動手段の少なさが外出機会の減少に繋がらないでほしいとも考えます。

このようなことから、常盤平団地地区の東西を結ぶ通りや店舗・医院の付近を走行するコミュニティバスや乗合いタクシーなどの公共交通機関があれば大変便利になり、かつ高齢者の心身の健康もサポートできると思います。

既に市内を走行しているグリーンスローモビリティやコミュニティバスをはじめとする公共交通機関を、常盤平団地地区に導入できませんか。

(回答)

- ・ 現在、市では多様な移動手段の導入に向けた検討を進めており、その実現には地域の特性や具体的な移動ニーズを正確に把握し、最適な移動手段を選ぶことが必要です。
- ・ そのため今後は、「どの街区の方が」「どのような目的で」「どこへ行くために利用したいのか」といった、より具体的な移動ニーズや利用頻度について、地域の皆さまと協力しながら把握していくことが重要だと考えております。
- ・ 市といたしましては、こうした地域の実情などを踏まえ、交通部門だけでなく福祉部門とも連携を図りながら、適切な移動手段などを検討してまいります。
- ・ また、導入にあたっては、一定以上の利用が見込まれるかどうかを事前に調査し、その結果に基づいて導入の可否を判断いたします。
- ・ あわせて、常盤平地域では団地を中心とした地域再生の取り組みが進められており、今後のまちの再生に合わせて、AIや自動運転技術を活用した次世代モビリティなどの導入も視野に入れ、新たな交通ネットワークの構築を目指してまいります。

(回答課) 交通政策課